

タンポポの勢力争いから

校長 ^{すえまつ} 末松 ^{ちかし} 睦士

夏休みのある日、自宅近くの河原を歩いている際に、タンポポの花を見かけました。これは西洋タンポポで、明治時代に日本に入ってきて、今では全国各地至る所にしっかりと根付いた野草です。西洋タンポポは、草丈は15cm位で、花は一般的に黄色ですが白い花もあります。生命力の強い植物で、アスファルトの裂け目から生えることもあります。50cm以上もの太くてゴボウのような根をもち、長いものは1m以上にもなると言われています。



そして、一番の特徴は、西洋タンポポは花粉を必要とせずの一つの花が一つの種子をつくり、軽いのでかなり遠くまで飛び、どんな所にでも花を咲かせることです。そして、夏にも花を咲かせ、秋にもまた種子を飛ばすというものです。

これに対して、日本タンポポは、同じ種類の株から花粉をもらわないと種子はできず、その数も西洋タンポポの半分で、しかも少し重いのであまり遠くまで飛びません。こう見てくると、日本タンポポが次第に影を潜めてきた理由がわかります。

これを「子どもを育てる」という視点で考えてみると、どうでしょうか。単独でどんな所へでも飛んで行き、そこでしっかりと根を生やすパイオニア精神たくましい西洋タンポポと、お互いに花粉が必要なため、「群れ」をつくって生きていく日本タンポポ。どちらの生き方を選択させるべきなのでしょう？そして本人がどちらを選ぶか…。

1年の中で一番長い2学期が始まりました。今学期も、様々な場面でご理解とご協力をいただくことと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



本一色小学校ホームページ

♪♪ラジオ体操、ありがとうございました。

夏休みの最終週、PTA 学年委員会の皆さんがラジオ体操を実施してくださいました。眠い目をこすりながらも、朝早くからたくさんの児童が参加してくれました。ラジオ体操第一に加え、あまり馴染みのない第二もやりました。残念ながら最終日は雨で中止になってしまいましたが、皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。